

研究のため当院で CT を撮影された方の【CT 画像および付随情報】 を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 放射線科 (診断)
職名 教授 氏名 陣崎 雅弘
連絡先電話番号 03-5363-1977
実務責任者 所属 放射線科 (診断)
職名 助教 氏名 橋本 正弘
連絡先電話番号 03-5363-1977

このたび当院では、過去に研究目的で CT を撮影された方の【CT 画像および付随情報】を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

下記の研究に協力して下さった方。

腹部腫瘍のダイナミック CT 診断における dual energy scan の有効性の検討 (2010 年 3 月 ~ 2011 年 3 月)

超低線量 CT の胸部病変の診断能に関する検討 (2011 年 3 月 ~ 2011 年 11 月)

腹部腫瘍の CT 診断における Dual Energy CT 仮想単色 X 線画像の有効性の検討 (2011 年 4 月 ~ 2012 年 9 月)

超低線量 CT の腹部病変の診断能に関する検討 (2011 年 4 月 ~ 2011 年 8 月)

低線量 CT および 2 重エネルギー CT における画質向上の検討 (2012 年 11 月 ~ 2017 年 12 月)

2 研究課題名

承認番号

研究課題名 CT の超低線量化による人工知能の病変診断能への影響の検討

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部放射線科学 (診断)

4 本研究の意義、目的、方法

近年、人工知能を用いた画像診断研究は急速な進歩を遂げています。特に健康診断での応用が期待されていますが、健康診断で普及が見込まれる超低線量 CT での検討は未だなされていません。本研究では、過去の研究で撮影された超低線量 CT 画像データを人工知能を用いた診断支援システムがどの程度正確に診断できるかを検証し、超低線量化が人工知能による病変の診断能にどのような影響を及ぼすかを検討します。

5 協力をお願いする内容

過去に研究目的に撮影させて頂いた CT 画像および付随データを再利用させていただきます。

6 本研究の実施期間

西暦 2018 年 12 月 日 ~ 2023 年 10 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、【CT 画像および付随情報】のみで、既に匿名化されています。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの【CT 画像および付随情報】は、既に匿名化されており、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した【CT 画像および付随情報】を結びつける情報（連結情報）は、過去の研究の個人情報管理者が保管期間終了まで厳重に管理しています。原則として本研究では利用しません。既に保管期限が過ぎて連結情報が破棄された研究も含まれており、破棄されていない研究についても各研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄される予定です。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、【CT 画像および付随情報】の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。ただし、画像データが誰のものであるか紐づけている情報が既に破棄されている場合は利用停止が行えない場合があります。

慶應義塾大学医学部放射線科（診断）

橋本正弘

03-5363-1977（平日 10 時 ~ 16 時）

以上